

## モスグループで初めての統合報告書を発行 『MOS REPORT（モスグループ統合報告 2020）』

モスバーガーを展開する株式会社モスフードサービス（代表取締役社長：中村 栄輔、本社：東京都品川区）では、このたび『MOS REPORT（モスグループ統合報告 2020）』を発行します。

2004年6月に本レポートの前身である『環境報告書』の第1号を発行し、以後、幅広いステークホルダーとのコミュニケーションツールと位置づけて、『モスのコミュニケーションレポート』を発行してまいりました。17号目となる今年は名称を『MOS REPORT（モスグループ統合報告 2020）』と変更し、財務やESG（環境・社会・ガバナンス）の方針、事業戦略などを加えています。

今回のレポートでは、モスグループがESGの観点から事業におけるマテリアリティ（重要課題）を提示した“モスグループのマテリアリティ”や、当社のESGの取り組み“モスグループのESG”など、全58ページにわたり紹介しています。

### 『MOS REPORT（モスグループ統合報告 2020）』の概略

#### <モスグループの価値創造ストーリー>

当社では創業以来、経営理念などを含む「モスの心」を指針に、事業を展開してきました。ここでは、これまでのあゆみと実績、価値創造モデル、社長メッセージなどを紹介しています。

#### <モスグループの事業戦略>

2019-2021年度の中期経営計画を紹介しています。国内外のモスバーガー事業とその他飲食事業の業績や、中期経営計画の達成に向けた施策なども記載しています。

#### <モスグループのマテリアリティ>

これまでも行ってきたさまざまな商品・サービスの提供や取り組みをさらに推進するために、ESG（環境・社会・ガバナンス）の重要テーマから①「健康に寄与する食の提供」、②「地域に密着した店舗運営」、③「働き方改革」、④「環境負荷の低減」をモスグループのマテリアリティに設定しました。これら4つのマテリアリティ特定のプロセスや、それぞれの目指す姿とともに、これらの取り組みとSDGsとの関連についても紹介しています。

#### <モスグループのESG>

当社の経営理念である「人間貢献・社会貢献」を根底に、企業価値の向上とともに、事業を通じた社会問題の解決に取り組んでいます。本特集では、プラスチック削減（環境）や、ベトナム人材の育成・採用プログラムの開始（社会）、コーポレートガバナンスの基本的考え方（ガバナンス）などの、ESGにおける当社の取り組みをまとめています。

#### <財務・非財務データ>

11か年の財務サマリーと非財務ハイライトのほかに、新型コロナウイルス感染症対策としての店舗・本社の取り組みや社会貢献の取り組みを紹介しています。

※「MOS REPORT（モスグループ統合報告 2020）」は、当社の企業サイトからもご覧いただけます。

モスフードサービス企業サイト <https://www.mos.co.jp/company/csr/report/>

#### <報道関係者からのお問い合わせ先>

株式会社モスフードサービス 広報 IR グループ TEL. 03-5487-7371 FAX. 03-5487-7389

<https://www.mos.co.jp/company/> E-mail. [pr@mos.co.jp](mailto:pr@mos.co.jp)

#### <お客様からのお問い合わせ先>

お客様相談室 TEL. 0120-300900